

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月18日(日) 13:30~16:30
場 所	大石公民館 集会室兼体育室
参加人数	17人
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	<p>40分以上説明があり、スライドも50枚以上あり、ちょっと多すぎて、ちゃんと理解するのは難しい。データについては別紙扱いとして、もっと要点を絞った方がよい。</p> <p>スライドでよく分からなかったところがある。</p> <p>スライドの15ページの児童生徒数の減少とあるが、背景をもう少し具体的に書いてほしかった。半数程度となり、今後さらに減少する見込みとしているが、何人から何人に減るのか、数字的に説明してほしい。</p> <p>その下からはきちんと具体的に校舎の70%が建築後40年以上経過している等、具体的、定量的に記載してある。</p>
教育総務課長	<p>上尾市の児童数のピークは約23,000人、生徒数がピークで約11,000人。現時点で児童数が約10,800人、生徒数が5,600人となっており、児童数は23,000人から10,800人へ、生徒数は11,000人から…</p>
参加者	<p>今後さらに減少するとしているが何人になるのか。要するに曖昧な表現ではなく、わかりやすく数字で説明をしてほしい。</p> <p>3段目で新たな教育や学習方法への対応として、小中一貫教育等が出てきており、小中一貫教育を提案している体制になっているが、小中一貫教育について良いとは思いますが、具体的にどういうものなのか説明がない。これが説明できなかつたら、提案にならない。曖昧な説明になっているため、みんながわからない。</p> <p>例えば3.3.3の編成ができるなどの具体的なメリットとデメリットがあると思うので、そのスライドが2枚ほどあったほうが良い。</p> <p>スライドの24ページにある数字がクラス数を示しており、学校</p>

	<p>全体のクラス数を示していることが説明を聞きようやくわかった。説明がないと学級数が何の学級数を示しているのかがわからない。</p> <p>適正規模校というのは小学校だと 1 学年 3 クラスが 6 学年分あるということで、教育委員会の皆さんはすぐにわかるが、一般市民はわからない。</p> <p>12 学級というのは中学校だと 1 学年 4 クラスが 3 学年分であることを、表を読んで理解しろというのではなく、きちんと説明してほしい。</p> <p>あとは、資料が多すぎるので、すぐに理解は難しい。要約を作成し、詳細なデータについては別紙で確認をお願いする方が良いと思う。</p> <p>皆さんが長い時間をかけて作成した資料を 30 分から 1 時間程度で全てを理解するのは難しい。</p> <p>逆に膨大な資料を提示し、市民にあきらめさせたいわけではないと思うので。</p>
教育総務課長	<p>2 つ目の小中一貫教育について、詳しく内容が分からないということですが、この計画では小中一貫教育を実施するかどうかの位置づけはない。</p> <p>この計画では、平方地区と原市地区の広い敷地がある学校に小中一貫一体校として、学校の再編案を示している。</p> <p>小中一貫教育を実施するかどうかについては教育委員会では決定をしていないが、様々なメリット・デメリットが出てくると思う。教育委員会としても先進都市の視察などを行い、令和 4 年度中に教育委員会としての小中一貫教育の方向性を決めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>私は中学校で働いている教員である。上尾市内で 35 年間教員をやっていたので、これからの上尾市の学校教育がどのようなものかに関心を持っているので、意見を含め質問をする。</p> <p>説明を聞くと学校や学校教育を施設としてとらえて、その更新のために経費を優先して計画を立てているように思える。</p> <p>学校教育がどのように行われているのか、どんな課題や可能性があるのか、小規模校にも可能性があると思うが、子供達や保護者や地域の願いはどうなるのかなど、そういった点が大きく欠けて</p>

	<p>いるように思える。</p> <p>大石中学校は大規模校である。この計画の方向性によると大石中学校と大石南中学校が新しい学校づくりの検討に入っている。万が一統合になるとさらに大規模な学校になる。</p> <p>大石中学校は、現在、1学年300人の8クラス、全体で900人の大規模校であり、統合でさらに大規模になる。</p> <p>さらに、今後30人学級編成等になれば、10クラスなどになることが考えられると思うし、今現在でも全校集会の移動に時間がかかる。特別教室も2教室ずつしかなく、音楽室以外エアコンが入っていない等、子供達の使い勝手が非常に良くない。体育館にしても使用制限がかかってしまう。</p> <p>主体的・対話的で深い学びや学年間の行事、オープンスペースを使った学習などの話はどこから出てきたのだろうかと思うのが、大規模校の実態である。</p> <p>質問の2点目は、大規模校の実態は検討しているのかということである。</p> <p>逆に、大石南小学校や大石南中学校、平方地域の学校に関しては、学校がなくなる可能性がある。</p> <p>地域から学校がなくなった場合、その地域は一体どうなるのか。そういったことについてどのように検討されたのか。</p> <p>福島の被災地では学校がどんどん廃校になっている。お年寄りはそのにいるが、子供達がいなければ未来はない。</p> <p>地域から学校がなくなるとその地域の未来はあるのだろうか。そのようなことについてどのように検討されているのか。</p> <p>3点目については、川越市に住んでいるが、農村部の芳野小学校という2学級並行の学校は、現在も2学級並行で存続している。私が住んでいる川越市をはじめ、親戚のいる狭山市や所沢市にもこのような計画はない。大宮、浦和に続き、住みたいまち3位の上尾市は人口増も見込めるのに、なぜこのような計画を立てたのか。</p>
教育総務部長	<p>学校がなくなる可能性について、学校については子供達の教育の場であることが第一であるが、その地域の方々にとっては、防災拠点であったり、地域コミュニティの場や行事を行う際に様々な人が交流をする場だと考えている。</p> <p>学校だけでなく、地域にとっても、仮に学校が廃校になるとなっ</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>たら大きな影響があると考えている。 避難所機能に関しては当然損なわれることがないようにしていく。また、新しいコミュニティの在り方について、こういった形でこの地域を活性化していくのか、皆さんと意見交換をさせていただきながら、進めていきたいと考えている。</p> <p>1 点目の大規模校の実態を検討しているのかということについてですが、先生においては長きにわたり、勤務をしていただきありがとうございます。</p> <p>大規模校にもデメリットがあることは認識しているため、適正規模化を進めることで計画を示しているところである。</p> <p>小規模校に関してもメリットがある一方で、デメリットもあると認識しており、適正化を図っていかなければならないことを計画の中で触れている。</p> <p>再編案として大石中学校と大石南中学校を統合することをお示ししているが、こちらの統合時の人数の想定としては、870 人程度となり、1 学年 8 学級の 24 学級を想定している。</p> <p>あくまで、再編案については財政上のシミュレーションであり、地域の皆様の様々なご意見や、私たちが知らない学校や地域の実情などもあるかと思う。そういったことを踏まえ、皆さんの意見を伺いながら、学校の将来の在り方について方向づけていきたいと考えている。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>住みたいまち 3 位の上尾市は人口増も見込めるのに、なぜこのような計画を立てたのかということについては、先にも説明をしたとおり、上尾市の人口急増期に小中学校を建設したが、その施設の 70%以上が 40 年以上経過している状況に加え、ピーク時よりも児童生徒数が半数程度となっている現状を踏まえ、この時期で学校の在り方について検討する良いタイミングということでこの計画を策定した。</p> <p>生産年齢人口が減ると税収が減るといった予算上の制約も出てくるかと思う。</p> <p>そういった課題解決も含め取り組んでいるところであるため、ご理解をいただきたい。</p>
<p>参加者</p>	<p>この計画のクラス数の試算について、35 人学級で試算をしてい</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>るのか。それとも 40 人学級で試算をしているのか。</p> <p>大石小学校と大石南小学校の児童数とクラス数を足してみると、今の時点でのトータル 1205 人であり、35 人学級で試算すると 38 クラスになる。2030 年では大石南小学校は 52 人、大石小学校は 90 人減り、トータルで 1063 人になり、35 人学級で試算すると平均して各学年 5 クラスになる。上尾市の適正規模を大幅に上回る。</p> <p>私が大石小学校にいた時は 2000 人を超えていたが、大規模校のマイナス面が全然考慮されていない。大規模校のデメリットが説明資料に全然出てきていない。ぜひ、こういった面もあると出してほしい。</p> <p>地域の子供会や保護者、PTA や校長などではなく、全保護者を集めて一斉に説明をする等、大変だとは思いますがそういったことが必要かもしれない。</p> <p>再編案の大石小学校と大石南小学校が統合されたときの人数の話ですが、再編案では大石小学校と大石北小学校の通学区域を調整することを想定し、統合時 840 人程度、24 学級を想定している。</p> <p>適正規模を念頭に置き、再編を考えていくことになるため、皆さんの意見を踏まえ、検討していきたい。</p> <p>学級の人数の試算については、平成 29 年度から計画策定を検討している関係で、当時は 40 人学級で試算をしている。</p> <p>計画の策定が 5 月であり、その直前の 3 月に法律が改正され、小学校 2 年生から順次 35 人学級になることが決定された。それを受けて、算定をし直し、35 人学級でどうなるかを検討したところである。その結果は余分に教室を設ける想定であったため、35 人学級になった場合も対応可能である。</p> <p>全ての学年が 35 人学級に移行した場合、増える学級数は 11 学級と想定している。</p> <p>説明会の周知を図り、しっかりとしてほしいとのことですが、地域の説明会后に、市内の 33 校全ての学校に伺い、保護者へ説明会を開催する予定であり、保護者の意見を吸い上げていきたいと考えている。また、並行して各地区の自治会連合会にお邪魔させていただき、地域の意見や実情をお伺いさせていただき、最終的に教育委員会として再編案を検討し、お示ししていきたいと考え</p>
---------------	---

<p>参加者</p>	<p>ている。  その際には改めて説明会を開催させていただきたいと思う。</p> <p>泉台の者だが、今日の説明会は、ご苦労様ですと初めに言いたい。地域計画についての話なので、その前提の問題から精査を頂けないかと思った。その理由はたくさんあるのだが、3つ発言をさせて頂く。</p> <p>一つは、今日の説明資料の29ページ将来人口推計について、ここには「基本となる人口推計」と「将来展望人口推計」があり、「基本となる人口推計」は、国立社会保障・人口問題研究所が今の状況をもとにして出した推計値となっている。これをもとにして、学校施設更新計画基本計画の上位計画の上尾市公共施設等総合管理計画、それが大元になっていて、その計画の中で人口が減ってしまう、施設はこのように管理します、そのまま更新はできないので35%削減しますという計画があって、その35%という目標を教育施設に当てはめるとこうなると、というのが基本。特に教育施設は、上尾市の公共施設の中で63%を占めていて、他市よりもはるかに公共施設に占める割合が大きいので、ここを最初の大事なポイントとして、特に行政経営をしている部署が中心となって、公共施設総合管理計画の所管が、35%を目指すために、その一番大きな面積をもつ教育施設に目を向けているということだと思っている。</p> <p>そういうことを考えると人口の推計というのは、とても重要になる。人口推計が違ってくると計画の内容が全く変わってくる。上の「将来展望人口推計」というのは、下に記載の社会保障・人口問題研究所の現在のままで推移したことを想定した推計を基にして、このままだと人口は減ったままになってしまう、ということで、国は、全市町村に地方創生、総合戦略を作れということで、作らせた。その人口ビジョン、市が作った人口ビジョン、それが「将来展望人口推計」になっている。上尾市の総合戦略、長期ビジョンで、上尾市自身が、国立社会保障・人口問題研究所が出した推計では困るから、何とかしないといけないということで、国に言われて作った計画の中は、上の線になっている。ところが、公共施設の話になると、下の線（基本となる人口推計）こんなに人口が減りますよ。だから大変ですよ、お金がかかりますよ、財政負担が増えてしまうと、公共施設の観点でそう言っている。今、</p>
------------	--

2020年の時点で総合計画（P28）では、年少人口、0～14歳は、27,259人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、たぶん二万五千数百人だろう。

実際にはどうだったかという、2020年1月1日時点で、27,402人で、市はかなり努力している。そういった意味では、人口推計の前提が、コロナ禍での転入数は、川口市に次いで多い状況であるなか、そういうことを考えると2015年時点で推計した国立社会保障・人口問題研究所の推計で、公共施設を考えていくのは、もともと無理があり、おかしいとなる。

二点目、上尾市の公共施設は、他市と比べて特徴がある、それは上尾市の公共施設の相対が、すごく少ない。40市で調べてみると、上尾市の公共施設の1人当たりの面積は、1.65㎡。40市の平均は、2.27㎡。1.65㎡というのは、県下で下から3番目に公共施設面積が少ない。公共面積の相対が少ないから、教育施設というのは、文部科学省の国の基準に基づいて作っている、当然どこで作っても同じ面積になる、他の面積がすごく少ないので、上尾市は、教育施設の内積の割合が63%と高くなる。だから、学校施設を優先的に減らさないと目標に届かない。行政経営部の方針に沿って、教育の発達を考える教育委員会が、考えるというのは、自殺行為かもしれない。ちなみに草加市は、一切合併ということは考えていない、ポイントは、60年だった耐用年数を80年から100年に延ばす。その代わり維持補修費を大幅に増やして、年々かかる補修費を増やして、とにかく耐震補強等をしっかりやって、年々かかる補修費を増やすことによって、80年から100年、上尾の計画でいえば、20年延ばす。この中で平準化して、一年間に掛かるコストをうんと減らすことができる、そういうことを草加市ではやっている。上尾市もそういう風に考えていたら良い。そう考えるには、行政経営部がそう考えなければならないが、教育委員会が考えなければ誰も考えない。そういう意味では、教育委員会の職員である皆さんが、学校の教育状況がこれで良いのか、学校の規模を考えるとということは、教育にとってどうなのか、そういうことを外さないでほしい。小規模でも良いんだと、そういうことを示していくのが、教育委員会の仕事として是非やってもらいたい。

三点目は、学校ごとの再編（案）での計算は、今は35人学級としているが、国際的には25人学級なので、35人学級を割ること

	<p>も考えられる、そういうことを考えると 30 人学級も考えられる。現在始まった 35 人学級を基礎にしても、例えば尾山台小、原市南小、瓦葺小の統合校 3 の 2055 年で 862 人で 24.6 クラスとなり、適正規模の 18 学級を大幅に超え、大規模校に近い状況となる。そういう学校をわざわざ統合してまで作るのか。それから、大石中学校、大石南中学校も 22.15 クラス、18 学級の適正規模を大幅に超える。計画の中でも 35 人学級をやると適正規模を超えてしまう、そういうことを平気でやってくる。大石小学校、大石南小学校も 18 学級を大幅に超えてくる。鴨川小、富士見小も 20.7 クラス、これは少なく見積もってもである。どこの学校も 35 人学級編成にすると、実際は 30 人程度の学級になる。だから本来は、もし推計でやるなら 30 人学級で出して、それで適正規模にすることをしなければならない。(私の計算方法だと。) 常識的に考えて、こんな計画はありえない。前提条件で非常に大きな過ちを起こしている。何回も市民の意見を聞いて進めるということであれば、是非、前提条件をもっとしっかり精査して、教育委員会として、子供の発達を考える組織として、考えてほしい。国は、財務省と文科省で喧々諤々とやりあって、35 人学級に踏み切れた。上尾市も学校を考えるのは教育委員会しかないので、行政経営部の言いなりになるのではなく、再度検討してほしい。上尾市の公共施設の相対が少ないということを提示して、生涯学習の場のように、学びたいときに学べる場がどの市よりも少ない、それに加えて学校施設を削減するなどということにならないように再度、前提条件を精査して検討して頂きたい。</p>
参加者	<p>説明の中で何度かクラス替えのできる学級数という言葉が出てきましたが、私たちにとって、子供たちや教職員、地域の方々にとって、どんなことがあるのかわからなかった。クラス替えができることが、素晴らしいことだと私は、あまり思わない。個別最適化や少人数と言っている。習熟度別だとか、少人数学習だとか言って、クラスを解体していろいろな活動をしている。35 人みんな学習するのではなく、グループに分かれて活動している。そういうこともたくさんあると思うので、クラス替えができることは、そんなに重要ではないのではないかと思う。保育所などは、1 クラスで 6 年間過ごす。少人数の十数名で特にクラス替えがあった方がよかったなと思ったことはない。クラス替えができると</p>



<p>指導課長</p>	<p>何かとても良いことがあるように聞き取れたのだが、その点について説明してほしい。</p> <p>クラス替えができることの良さについて、一つは、子供の人数が多いと人間関係が多様に展開できる。逆に人数が少ないと、例えば、少ない人間関係の中で、トラブルが起きた時に、距離を置くといった選択をとりにくいというデメリットが挙げられる。クラス替えをできれば、人間関係もリセットされて頑張れるのではないかとこのところ、クラス替えができるというところのメリットがある。</p> <p>学校規模小さい場合は、クラス替えができない学級編成になる他、クラブ活動や部活動の選択の幅が狭まるということが、デメリットとして挙げられる。</p>
<p>参加者</p>	<p>先に意見されていた泉台の方の質問（推計人口に関すること）に対して回答していないのは失礼じゃないのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>推計人口に関することでよろしいか。</p> <p>計画を作成するにあたって確固たる根拠となる数値が必要になると考え、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を利用した。長期ビジョンの中で上尾市の目指す人口を将来展望人口として、お示ししており、様々な施策を行いながら目指すものである。直近の人口動態を見ていかなければならないとも考えている。学校規模などを考えていく上では、児童生徒数、人口というのは大きな問題だと思っている。例えば、今回の新型コロナウイルス影響による出生数の減少なども出てきているが、現状の計画には反映されていない。今後どの程度まで出生数に影響がでるか分からない。社会情勢の状況に応じて変化する人口変動は、大きく影響するため、時々で見定めながら進める必要があると考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>娘を大石南小、中に通わせている保護者なのだが、質問が3つある。</p> <p>1点目は、この計画は、今後早まる可能性はあるのかということ。娘の他に息子もいるため通わせることについて考える必要があるため知りたい。</p> <p>2点目は、統廃合することになってしまった場合、大石南小から</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>大石小へ通うことが強制になってしまうのか。例えば、自宅からだ今泉小学校の方が近いので、小学校の選択ができるようになるのか具体的に伺いたい。</p> <p>3点目は、自転車通学が2km以上からとあったが、それについても決まっているのか伺いたい。</p> <p>3点頂いたうち、1点目と2点目についてお答えしたい。</p> <p>まず1点目の「計画が早まる可能性はあるのか」ということだが、基本的には、無いと思われる。今後、各学校にて説明をさせていただき、様々な意見を頂いたのちに、教育委員会で、まず案としての再編案を再度作成し、お示ししなければならないと考えている。それを受けてスライドにあった検討協議会の中で、5年間をかけて学校の形を検討していくことになる。基本的には建物の耐用年数がポイントになると考えている。後ろになることは、長寿命化等を行うなどするとあり得るが、現状の案よりも前になることはないと思われる。スケジュールについても協議会の中で検討していくことになるため、確定できるわけではないが、目安としては、今日お示したものに近くなると思われる。しかし、それがすべてではなく、統合しない可能性もある。地域の皆様のご意見を伺いながら、検討し考えていきたいと思う。</p> <p>2点目の「大石小ではなく、自宅に近い今泉小に通えるようになるのか。」というご質問については、仮に統合等が行われた場合に児童の移動による教育への影響がないようにすることの他、いくつかの学校で学区がまたがることなどについては、見守りなど、地域の事情などもあるかと思われるので、皆様の意見を聞きながら最終的な形を作っていくと考えている。</p> <p>また、計画の進捗状況が皆様へ届かず分からない状況にならないように、開催報告等をしっかりと行っていきたいと考えている。今回の説明会にて頂いたご意見などについても、市のHPを通じて公表をさせていただきますし、自治会連合会にも定例会に参加をさせていただきます。地域の方々から頂いた意見を報告させて頂く予定でいる。また、検討協議会が始まった後も、HP等にて情報を公開していくとともに、地域の回覧なども自治会に協力を頂き回覧板等で周知を図りたいと考えている。</p>
<p>指導課長</p>	<p>自転車通学について、中学校は、学区の広い学校について、自転</p>

<p>参加者</p>	<p>車通学を認めている。学校からの距離と時間の基準を設けて、自転車通学ができることを認めている。</p>
<p>参加者</p>	<p>中妻に住んでいる者だが、先ほど大石南中と大石中、大石南小と大石小を統合した場合について、大規模校に対する問題は解消されないという話があった。その場合に大石小と大石北小の学区を調整する話をされたのだが、具体的にはどのような調整をされるのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>先ほど大石小学校と大石南小学校を統合して、大規模化する学校の調整として、大石北小学校の学区を調整するという内容だが、財政シミュレーション上で調整しているもので、大石小学校の一部の地域の学区を大石北小学校の学区に調整するという想定をして財政シミュレーションを行っている。</p>
<p>参加者</p>	<p>3点質問をさせて頂く。  1点目は、スライドの45ページ、予算のシミュレーションのスライドで、ケース1とケース2があるが、プールの外部委託やスクールバスに関する予算は、含まれているのか。  建物の維持をするという観点から、小規模校の校舎建て替えに際して、鉄筋コンクリート造でなければならないということがあるのか。規模に応じた学校施設とするようなこと、例えばプールについて、地区でプールを共有するような、和光市が温水プールを活用して地区の小学校全体で利用している等の話もあるので、そういう事例にあるようなことが上尾市でやれる可能性があるのか。  2点目は、統廃合が前提になるのだが、学区の話もあるが、建物の老朽が前提として建て替えるというときに、学校の土地というのは、今の場所のままなのか、例えばもっと市民の通いやすい場所に移転をするなど、人口バランスを含めて検討することはあるのか。  3点目は、統廃合と更新計画を含めて、上尾市側の情報発信がすごく分かりにくいと感じている。二月のパブリックコメントも広報誌の小さな欄で一か月意見を募集するという形で行っていたが、今の若い世代やこれから教育に係わっていく幼稚園・保育園世代は、紙の広報誌やデジタルの広報誌を見る機会が少ない。大</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>石南小では保護者に、こういうパブリックコメントがありますという、お知らせを出していたり、地域的に学校と連携してやっていきたいと思いますしたりしている。33校の説明に関しても広報ではなく、市P連の時にも、希望があればやりますよという話だったのが、やっていただくのは良いのだけでも、突然33校でやるという話になり、保護者はいつあるのかわからない。これから2学期にやるということだが、今後対象となる幼稚園生や保育園生にもしっかり聞いていくべきかな、と思うがその辺の発信について、どう考えているのか。</p> <p>1点目のコストについて、試算として、ケース1では、現況の建物面積をそのまま建て替える場合の金額として、899億円となり、ケース2では、減少する児童生徒数に合わせて校舎を小さくした場合に掛かる建て替え金額で、721億円となり、この金額は、プールも含めた形での建て替え金額となっている。スクールバスについては、検討を行っていないため、コストには含まれていない。</p> <p>小規模校の場合の木造で建設するなどのお話もあったが、コスト計算をするにあたっては、画一的な校舎モデルを作成して検討した。鉄筋コンクリート造で作られた校舎で、イメージとしては、中央小学校の改築棟である南校舎のような、廊下状の多目的スペースに教室を接続させて教室と多目的スペースを一体で利用できるオープンスクールの形としたモデルケースを考え、必要教室数を算出し、面積を出して、その面積に単価を掛けてコストを算出した。</p> <p>試算のケース3で、適正規模化を念頭とした場合でプールを民間委託できた場合は、21校程度建て替えられるとお示した。現状として、プールの稼働というのは、1学期の中で、数日という状況となっている。先生方の負担も課題になっている。先進的な自治体では、プールの民間委託をしている事例もある。上尾市としても、本年度中にプールの民間委託の方向性を考えていきたいと思っている。</p> <p>その際には、東西に共有プールを設けるなども含めて検討をしていきたいと考えている。</p> <p>2点目の校舎を建て替える方法については、基本的には、新しい土地に新しい学校を作るというのは、空いている土地がないため</p>
---------------	---

	<p>現状では難しいと考えている。現在の学校の場所で、建物を建てながら、校舎を移動、引っ越しをしてもらい、子供たちの教育に影響がないように行い、複数年かけて更新をしていく想定である。</p> <p>3点目の情報発信について、非常に分かりにくい情報発信で申し訳ない。パブリックコメントについては、420件というご意見を頂いたところですが、我々としては、出来る限りの広報、広報あげおやホームページに掲載、公民館への設置等をさせて頂きましたが、広く行き渡らなかったことについては、申し訳なかった。どのような形の情報発信が良いかということについては、研究をさせて頂きながら、ツイッター等も使いながら、ご相談をさせて頂き、広く周知をできるようにしていきたいと思う。地域説明、この後の学校の説明会、未就学児の世帯、保護者への説明会をとのこと意見だが、我々も広くご意見を頂きたいと思う。保護者の皆様のほか、これから小学校へ上がってくる子供を育てている保護者の方にも意見を頂きたいと考えていますが、どのような形で行うかは検討しきれていないが、広く意見を頂きながら検討を進めて行けるようにしたいと考えている。</p>
参加者	<p>いろいろと説明をしていただきましたが、検討するとこれから丁寧に説明するとのことだが、例えば、大石北小と大石小の学区を変更しながら、学校規模の適正化を図ることも可能だと、そういうことも含めて、どういう形で、それぞれのエリアに分けて、学校の統廃合の計画を検討すると説明されているが、様々な地域でいろいろな課題や疑問点も出されていると思う。ここでも、人口推移がどうなのかという根本的なことが出されたが、そういうことをこれからも、学校単位で説明されて、様々な意見や疑問や何かが出て、検討するということだが、必ずしも、今回示されているこの再編（案）で進めるということではないという理解でよろしいか。</p>
教育総務部長	<p>地域説明会が、今回で5カ所目となっているが、様々な意見が出されている。当然そういった意見を踏まえながら、我々としても、一回の説明会で、説明をしたからと言って一方的に進めるつもりはない。今後、皆さんの意見を伺いながら、学校での説明も行いながら、いろいろな意見を伺いながら進めていきたいと考えてい</p>

<p>参加者</p>	<p>る。</p> <p>県内でも公共施設の面積が少なく、市民の使える公共スペースが非常に少ない市であるということを知り、学校は、貴重な施設であると、公共施設が不足していることであれば、市民が有効利用できるようなことを想定して、考えていくことがベターかと。そう考えると、学校を残して、今の小学校区や中学校区を地域のコミュニティのために残して、その学校を小規模化すること、それから地域のいろいろなことに使えるスペースにしていく、もちろん子供が減ってどうしようもない場合には、学校数を調整するというのもあると思うが。今、国の地域包括ケア、地域共生社会がずっと進められて、行政がなんでもかんでもやるというのではなくて、地域住民と協力関係を作って、プラットフォームをつくる役割を一つ作って、私も賛成しているわけではないけれども、その方向性が強まる。そうなるあまり大きな範囲ではなくて、小地域で住民と密接に関係できる公共空間があることは、とても貴重だと思うし、そういった意味では、人口急増で学校のような教育施設も非常に手狭な状況で作ったことでしょうし、他の自由に使えるスペースも上尾市にはないなら、やっぱり学校を統廃合という形ではなくて、地域のために学校施設をどう使うかということの方向をだして、その上で説明会をやって、学校の部分については、こうなる等の説明を、あるいはどうしても統合が必要なので、こちらの学校を一つにしようと思うなどのことを検討していただいて、もう少し現実的な市民の生活や地域の状況に基づいたものにしてほしい。35%予算を削減しなければならぬから、まず教育施設が全体の中で多いから、まず減らすのではなく、市民の財産なのでから考えてほしい。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>我々も今回説明をさせて頂き、地域の皆様から様々なご意見を頂きました。まず、子供の教育を考えるべきだと、財政ありきの話になっているのではないかと。それから、教育だけでなく、地域の防災拠点であるとか、地域のコミュニティの拠点であるとかそういったご意見を頂いているところである。教育委員会にて、この計画については、説明をさせて頂いているが、全市的な様々な課題については、持ち帰り検討する。</p>

参加者	<p>将来人口の推移についてだが、教育施設についての検討であれば、市人口ではなく、出生数の推移が重要だと考える。高齢化が進んでいるので、子供の人口がどうなっているのかをストレートに出した方が分かりやすいので、是非、29 ページの長期ビジョンの推計と合わせて追加してほしい</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-----	---